

■ はじめに

キヤノンマーケティングジャパン製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。
このリリースノートには、ESET Endpoint アンチウイルス for macOS V7.4
(以降、本製品と記載します) を正しくご利用頂くための情報が記載されています。
本製品をインストールする前に必ずお読みください。

■ インストール前の注意事項

本製品をインストールする前に、以下の内容を確認してください。

- ・ 本製品をインストールする前に、すべてのプログラムを必ず終了してください。
- ・ 本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされていないことを確認してください。本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされている場合は、必ずアンインストールしてください。
- ・ 本製品をインストールする場合は、管理者アカウントでインストールしてください。
- ・ 本製品をインストールできる OS は、macOS v11 以降です。
- ・ インストール時にインターネットに接続する必要があります。

■ 製品マニュアルについて

本製品のマニュアルにはオンラインヘルプとオンラインヘルプ補足資料があります。
はじめにオンラインヘルプ補足資料を確認してください。
オンラインヘルプ補足資料は「ユーザーズサイト」よりダウンロードすることができます。

ユーザーズサイト

<https://canon-its.jp/product/eset/users/>

オンラインヘルプ

https://help.eset.com/eea_mac/7/ja-JP/

■ 使用上の注意事項について

本製品を使用する前に、以下の内容を確認してください。

□ ミラーサーバーからのアップデートについて

ESET Endpoint アンチウイルス for macOS V7.4 より、以下の製品を使用して構築したミラーサーバーから、検出エンジン（ウイルス定義データベース）のアップデートができません。

- ・ ESET Endpoint Security
- ・ ESET Endpoint アンチウイルス
- ・ ESET File Security for Microsoft Windows Server

ミラーサーバーをご使用の場合は、以下の製品を使用して、ミラーサーバーを構築してください。

- ・ ミラーツール

□ ミラーツールのアップデート指定先フォルダの変更について

本製品は、従来のミラーツールで生成された「ep6」配下のモジュールを使用できません。ミラーツールで、「--updateServer オプション」を用いて、「http://update.eset.com/eset_upd/businessmac」から取得するモジュールを使用する必要があり、モジュールの出力先は「BusinessMac」に変わるため、ミラーサーバーの指定方法が以下のように変わります。ミラーサーバーを使用していて、アップデートサーバーの設定をしている場合は、指定先フォルダの変更に合わせて設定内容を変更してください。

変更前：<http://ミラーサーバーのアドレス:ポート/ep6>

変更後：<http://ミラーサーバーのアドレス:ポート/BusinessMac>

□ v6 からのバージョンアップ時に一部の設定が引き継がれない

v6 からのバージョンアップ時に一部の設定が引き継がれません。主な項目として以下のものがあります。

- ・ アップデートサーバー
- ・ プロキシサーバーの認証情報
- ・ スケジューラ

必要に応じて設定を変更してください。セキュリティ管理ツールを使用して、本製品を管理している場合は、ポリシーを使用することで設定を変更できます。なお、ミラーサーバーを使用していて、アップデートサーバーを設定している場合は、前述の内容で設定変更が必要になります。

□ スケジューラの自動設定について

セキュリティ管理ツールで本製品を管理していない場合、本製品をインストールするとスケジューラに「定期自動検査」という名前のオンデマンド検査が、インストールした数分後の時刻とインストールした曜日で自動設定されます。必要に応じて設定を変更してください。

□ 本製品にはデバイスコントロール機能は実装されていません。

□ オフラインライセンスを使用したアクティベーションはできません。アクティベーション時はインターネット接続が必要となります。

□ 製品の自動アップデートが、デフォルトで有効になっています。自動アップデートが有効だと、新バージョンが出たときに本製品が自動的にバージョンアップされます。自動でのアップデートを望まない場合は、[環境設定]>[更新]>[製品のアップデート]の設定画面で、[自動アップデート]の設定をオフにしてください。

□ v6 からバージョンアップした後に、本製品へのフルディスクアクセス権を付与する必要があります。

■ 既知の問題について

本製品には、以下の問題と制約があります。

これらの問題については、将来のリリースで修正される可能性があります。

最新の情報につきましては弊社製品ホームページの Q&A をご確認ください。

ESET 製品 Q&A ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/support/>

プログラムの変更点について

https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/2293?site_domain=business

- アンインストール後、Dock 上に無効なアイコンが残る

製品のアンインストール後、Dock 上に無効なアイコンが残る不具合を確認しています。Dock 上に残ったアイコンにつきましては、Dock のオプションより、[Dock から削除]をクリックし、削除してください。

- MacOS13 以降で、Safari を使用した場合に Web アクセス保護の除外が機能しない

MacOS13 以降で、Safari を使用した場合に Web アクセス保護の除外が機能しないことを確認しております。MacOS13 以降で Web アクセス保護の除外を使用したい場合は、他のブラウザを、ご使用ください。

- 「URL アドレス管理」で許可した URL 以外の URL にアクセスできる

「URL アドレス管理」で許可した URL 以外の URL にアクセスできることを確認しております。

- Web アクセス保護で、駆除レベルを「駆除なし」にしても駆除される

Web アクセス保護で、駆除レベルを「駆除なし」にしても駆除されることを確認しております。

- macOS13 以前の OS で、リムーバルメディアの検査で検出後にファイルが残る事象を確認しております。

ファイルの中身は削除されていますので、同名のファイルが残る以外の影響はありません。

- OS 再起動後に、Licensing service に関するエラーログが記録される

OS 再起動後に、Licensing service に関するエラーログが記録されることを確認しております。

確認できているイベントメッセージは以下の通りです。

- ・ サーバーからデータを受信できません：ネットワークに到達できません

保護機能への影響はございませんので、このイベントログは無視してご利用いただけます。

- バージョンアップした場合やタスクでのインストールをした場合に、通知が機能しないことがある。

バージョンアップした場合やタスクでのインストールをした場合に、通知が機能しないことがあります。発生した場合は OS の再起動を試してください。

- v6 から本製品へバージョンアップした時に、本製品にフルディスクアクセスの許可が必要になるが、macOS11 の場合、一度 OS を再起動しないと許可することができない。

v6 から本製品へバージョンアップした時に、本製品にフルディスクアクセスの許可が必要になりますが、macOS11 の場合、一度 OS を再起動しないと許可することができないことを確認しています。macOS11 で本製品を利用する場合は、OS を再起動してから本製品にフルディスクアクセスの許可を設定してください。

- コマンドで、復元して検査から除外が機能しない

コマンドで、復元して検査から除外が機能しないことを確認しています。

- フィッシング対策の警告画面が英語で表示される

フィッシング対策の警告画面が英語で表示されることを確認しています。

- URL アドレス管理によるブロック時のポップアップが英語で表示される

URL アドレス管理によるブロック時のポップアップが英語で表示されることを確認しています。

- アップデート画面のモジュールアップデートの日付表記が外国表記となっている

アップデート画面のモジュールアップデートの日付表記が外国表記となっていることを確認しています。

例) アップデート時刻が 2023 年 10 月 5 日の 19 時の場合の表示
05.10.2023 19:00:00

- 製品情報

本製品に関する情報は、以下の URL から参照することができます。

ESET 製品ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/business/>

ユーザーズサイト：

<https://canon-its.jp/product/eset/users/>